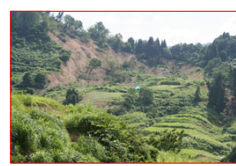


東日本大震災・原子力災害伝承館における取組について



瀬戸真之（東日本大震災・原子力災害伝承館）

1



地すべり（新潟県栃尾市）



表層崩壊（伊豆大島）



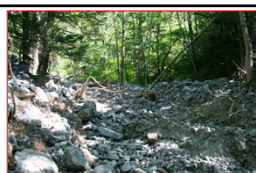
火山噴火（三宅島）



洪水（埼玉県杉戸町）

日本の災害事例（1）

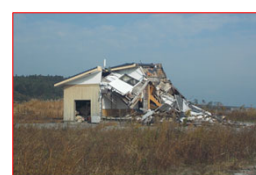
2



土石流（長野県上高地）



竜巻（埼玉県熊谷市）



津波（福島県富岡町）



放射性廃棄物（福島県川内村）

日本の災害事例（2）

3

日本の災害

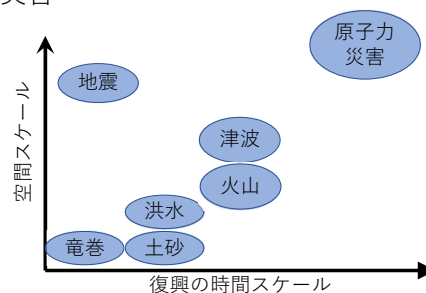
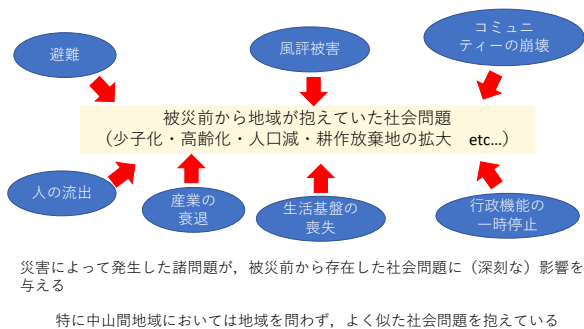


図 災害と時空間スケール

→ 多種多様な災害が起こり、その時空間スケールには違いがある

4

災害の本質



5

問題の所在

さまざまな災害が発生
↓
災害の記録を残さなければならない

1. 誰にむけて記録を残すか？
2. 何を記録するか？
3. どうやって記録するか？
(写真と実物、デジタルとアナログ)
4. 災害記録をどう活用するか？

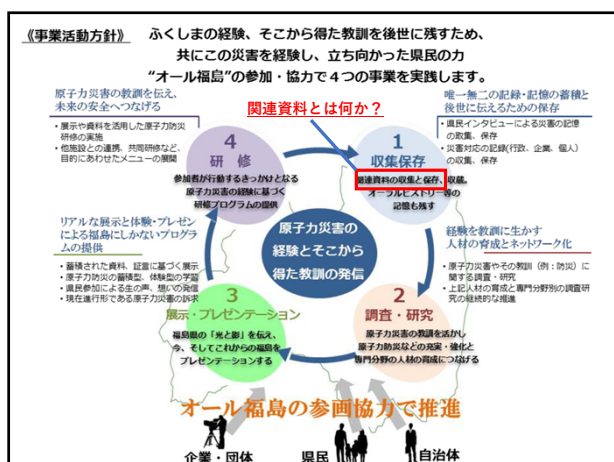


震災記録誌



(博物館的) 物品の収集・保全・保管

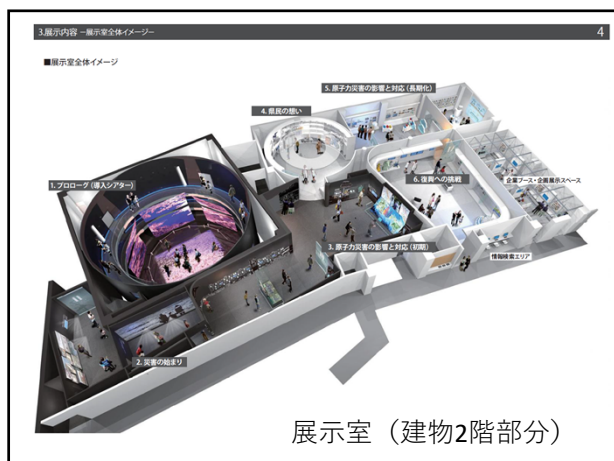
6



7



8



9

資料収集ガイドラインにみる資料の分類と例 (一次資料)

資料分類	資料の例
モノ	・2時46分で止まった時計 ・震災後閉校となった学校の様子が分かるもの ・新エネルギーの広告塔、看板 ・津波の影響を受けた道路標識、看板、線路 ・帰還困難区域等を表す看板 ・避難所で使われた炊き出し用の大鍋 ・応援メッセージ、励ましの干羽鶴 ・仮設住宅の様子が分かるもの(看板や表示)等
紙	・被災者の日記、手記・子どもの体験作文、手紙 ・避難所の記録、日誌、ピラ、メモ、表示 ・救援物資に関する資料、配布表 ・自治会の日誌、報告書・仮設住宅に関する書類 ・市町村が配付した広報誌、ピラ、チラシ 等
写真 ※デジタルデータを含む	・震災の様子を表した写真、倒壊した建物、町並み等の写真 ・避難の様子が分かる写真、救援活動の記録写真 ・避難所の生活の様子を表す写真 ・仮設住宅での生活の様子が分かる写真 ・ボランティア活動の記録写真、イベントの記録写真 等
映像・音声 ※デジタルデータを含む	・被災者が撮影した震災の映像 ・仮設住宅やボランティア活動の記録映像 ・復旧、復興の様子を撮影した映像 ・風評被害払拭のためのイベントの様子を撮影した映像 等

10

資料収集ガイドライン (イ) 二次資料

二次資料)

連の刊行物

資料分類

図書

雑誌

視聴覚資料

その他

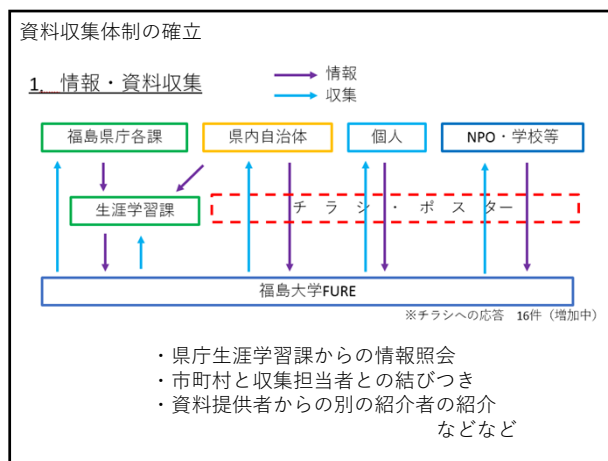
(その他)

ツイッターのつぶやき

海外の資料→本、雑誌

128 129

11



12



13

原子力災害被災地でのアーカイブズの特徴

災害の特徴

目に見えない→納得しがたい
広い範囲で大勢に影響
超長期にわたり、ふるさとを失う
→地域崩壊の危機

行政と市民との意見の乖離

行政（国、県など）－Scrap& Build
地元住民－Reconstruction

アーカイブズへの期待

行政（国、県など）－防災・減災
地元住民－失われつつある故郷を記録して欲しい

14

次の災害を軽減する

そもそも「災害」とは・・・

●自然現象

(Bryant,1991; Alexander,1993; Tobin and Montz, 1997; K. Smith, 2001)

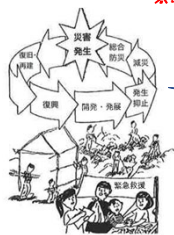
●人間の反応 (精神的肉体的トラウマ・経済・政治)

(Dyng et. al., 1987; Lindell and Perry, 1992; Oliver-Smith, 1996; Platt et. al. 1999; Takagi and Seto, 2017)

「災害」を考える大きな2つの流れ

→共通点

「災害は社会の機能が日常性を失うことであり、復旧は日常性を取り戻す」
※あくまで「日常性」であり災害前の姿だけを指さない



災害記録はこの
サイクルに貢献
すべき！

被災と復興のサイクル
Ben et. al., 2004を渡辺ほか, 2010が改変

15

海外も含め他地域に経験を伝える

アーカイブ

日本が持つ豊富な災害経験

自然科学の知識
(災害のメカニズム)

- ・災害経験の収集
- ・自然科学的知見の蓄積

↑ 伝達 ↓

受け手側も送り手側
も人材育成が必要

防災対策：何をすれば良いか考える、

災害対応・復興：日本の事例を参考に
自国向けにカスタマイズ

→シミュレーション、
実際に起きている災害への対応

- ・災害経験の収集
- ・自国向けの
カスタマイズ

16

問題と課題の所在

さまざまな災害が発生

↓
災害の記録を残さなければならない

1. 誰にむけて記録を残すか？
2. 何を記録するか？
3. どうやって記録するか？
(写真と実物、デジタルとアナログ)
4. 災害記録をどう活用するか？

↓
担当機関・担当者間での共通認識の確立

(博物館的) 物品の収集・保全・保管



震災記録誌



17